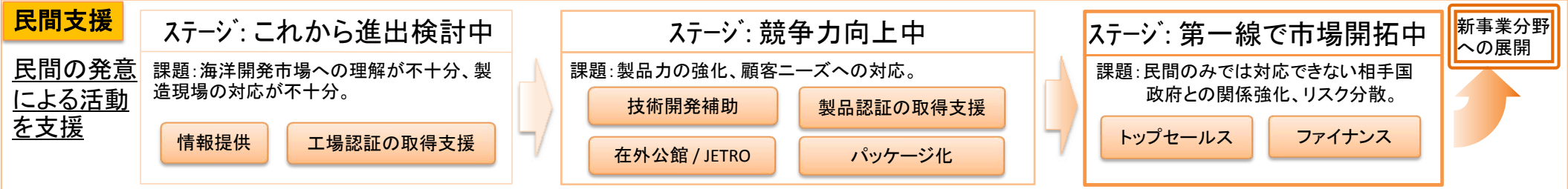


## 海上輸送分野において蓄積した経験と技術を活かし、成長分野として期待される海洋開発市場においても国際競争力を確保する。



### ○民間企業に対する海洋分野への進出支援：民間企業のニーズに応じて柔軟に対応

|  |   |  |  |
|--|---|--|--|
| <b>情報提供</b> <span style="color: green;">●</span> 実施中 P.5<br>これから海洋開発関連分野への事業展開を図ろうとする企業に対して、情報提供や啓発活動を継続的に実施。<br><例: セミナーの開催、展示会参加の呼びかけ。>      | <b>海洋資源開発関連技術開発支援</b> <span style="color: green;">●</span> 実施中 <span style="color: red;">●</span> 予算要求中 P.6<br>我が国海事産業がこれまで培った技術を海洋資源開発関連分野で活かすための技術開発を補助。<br><例: 海洋資源開発関連技術の開発支援事業>          | <b>製品認証の取得支援</b> <span style="color: blue;">●</span> 検討中 P.7<br>製品の実績不足を補うリスク分析認証の取得支援を検討する。<br><例: 船級協会等との連携を検討中> | <b>トップセールス等海洋資源開発国との関係強化</b> <span style="color: green;">●</span> 実施中 P.8<br>二国間協議等を開催し、我が国海事産業の海洋における石油・天然ガス開発分野での事業拡大を促進していく。<br><例: 海洋資源開発促進のための造船協力に関する日伯共同声明>               |
| <b>工場認証の取得支援</b> <span style="color: green;">●</span> 実施中 P.5<br>造船現場、機器製造現場において求められる労働衛生・安全・環境の管理制度認証の取得を支援する。<br><例: HSE(労働衛生安全環境)ガイドラインの策定> | <b>在外公館、JETRO派遣職員による支援</b> <span style="color: green;">●</span> 実施中<br>海外市場開拓に取り組む企業をサポートするため、海洋資源開発国に所在する在外公館やJETRO事務所に、海事局から職員を派遣し、現地政府との関係構築や情報収集を行う。<br><例: ロンドン、シンガポール、サンパウロ (JETRO事務所)> | <b>海洋資源開発関連機器のパッケージ化</b> <span style="color: blue;">●</span> 検討中 P.7<br>製品を組み合わせて、顧客のニーズに合ったパッケージ化に向けた支援を検討する。     | <b>支援機構の活用等によるインフラ輸出支援</b> <span style="color: green;">●</span> 実施中 P.9<br>(株)海外交通・都市開発事業支援機構の活用等により、海洋構造物の建造や海洋開発のための船舶の運航事業などの海外プロジェクトへの進出支援を行う。<br><例: (株)海外交通・都市開発事業支援機構の設立> |

### 基盤整備

政策的に国が基盤整備を実施

|                                 |                                     |                               |                                    |  |
|---------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------|------------------------------------|--|
| <b>人材育成</b><br>海洋開発の基盤となる技術者の育成 | <b>研究基盤</b><br>海洋構造物に係る研究開発のための基盤整備 | <b>基準・規格</b><br>安全基準と国際規格への対応 | <b>統計データ</b><br>合理的な意思決定を行うための情報整備 | <b>政府間関係構築</b><br>主要海洋開発関連国と基本的協力関係を構築 |
|---------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------|------------------------------------|--|

### ○国が中心になって行う基盤整備

|  |  |  |
|--|--|--|
| <b>人材育成</b> <span style="color: red;">●</span> 予算要求中 P.10<br>海洋開発事業に従事している企業等との連携による、技術者の育成に向けた環境整備を実施。<br>①専門カリキュラム・教材の開発、②海洋構造物に関する挙動再現シミュレーションプログラムの開発、③海外大学等との連携体制(インターンシップ等)の構築に向けた調査などを実施。 | <b>安全基準、国際規格への対応</b> <span style="color: green;">●</span> 実施中 <span style="color: red;">●</span> 予算要求中 P.13-15<br>海洋開発分野の安全基準や国際規格への対応を的確に行う。<br>①浮体式LNG受け入れ・再ガス化設備(FSRU)、②液化水素運搬船に係る安全基準整備、③海洋再生可能エネルギー設備等に係る国際規格化への対応などを行う。また、海洋再生可能エネルギー設備等に適用される国内の関係法令の取扱い等について検討を行う。 | <b>政府間関係構築</b> <span style="color: green;">●</span> 実施中<br>主要な海洋開発関連国との政策対話や二国間協議の開催、基本協力覚書の締結等により、我が国海事産業の石油・天然ガス開発市場での事業拡大を促進していく。 |
| <b>研究基盤</b> <span style="color: red;">●</span> 予算要求中 P.11,12<br>高精度の試験実施を可能にする海洋構造物試験水槽の機能を強化するとともに、海洋構造物に係る基礎的研究を実施。(海上技術安全研究所)   | <b>統計データの整備</b> <span style="color: blue;">●</span> 検討中<br>我が国企業が合理的な意思決定を行うための基礎と成る統計データの整備を行うとともに、データベース化に取り組む。  |  |